

(様式3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和6年9月20日

会 派 _____ 会派市民 _____

参 加 者 _____ 桜井 忠 _____

政務活動先 (目的地)	小樽市民センター				
開催団体等	北海道有志僧侶の会				
政務活動期間	令和6年9月14日 (土)			1日間	
政務活動項目 (名称等)	「小樽未来への覚醒」講演会				
政務活動参加者	桜井 忠				
					計 1名
全体参加者数	100名				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	①第一部は「レターパック裁判」の映画鑑賞だったが、すでに見ていたし、それを見るためには、かなり早く小樽へ出発しなければならないので午後の部からの参加とした。 ②第二部の特別講演会は藤江成光氏の講演ですが、私は毎回この方の講演を聞いていますが、情報が常に新しく書き換えられており、毎回聞く意味があります。講演はいつもながらの鋭い指摘ですが、特に札幌の情報公開が進んでいるデータをもとにいろいろな問題点を明らかにするとともに、他都市でも情報公開が進んでいる都市のデータを細かく突き合わせ、分析することからコロナワクチンのロット番号による死亡などのデータに偏りがあり、特に危険なデータでは死亡が何倍も多く出ていることを示していました。 ③次に、私とは長年の友人である河添恵子氏の講演では、いつものロシアとウクライナの問題、ユダヤとシオニスト、現在のガザとイスラエルの問題と国際政治の深い掘り起こしの中で説明をしていました。しかし特筆すべきはトランプ暗殺事件についての分析でした。あの会場にはピューリッツア一賞を取るほどのカメラマンだが、民主党の写真を専属的に撮っていたカメラマンが会場にいて、そのカメラマンへの配慮ともいべき不審な動きがあったことを当日の場内の写真や動画で見せていた。それは民主党側からの情報で、トランプ暗殺の場面を撮り、広報するためとしか考えられない。だ				

	から、トランプ暗殺命令は終わっていないし、また起こる。と断言した。そうしたら、それからわずかすぐ後にトランプ暗殺未遂事件がまた起こった。私は河添恵子女史とはメールでやり取りする仲なので、すぐメールを送って、慧眼をほめたが、彼女からはまた起きる可能性があるかと返ってきた。その他、他にも分析をしていたが、特に心に残る事件だったので記しておく。	
	資料名（会派保管）	

会派内回覧								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--